THE LADIES' JOURNAL OF EDUCATION.

驛遞局認可

明治二十年二月十五日

定價金四錢

女學雜誌

第五十一號

每月三回發行

績文舍

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

目録

●（女學叢誌）美術論（文學士坪内雄藏君述）●（中外新報）十數件●（學藝一斑）理學一斑●（對譯）泰西の箴諺○勿れ●（列女傳）歌妓小万の傳（畫入）●（雜記）女子の敎育（矢田部良吉君述）○女子敎育說（ガゼット抄譯）○子女輕患微傷手當法○婦人の心得●（新作物語）巢守の妻（春のや主人）（畫入）●（家政要報）ランプ取扱心得○日用品諸相場●（御伽草）百技ハ一藝に如ず○數學問題○考物○前々號の答等●（寄書）婚姻の歌○學校敎課の問幷に答

女學叢誌

美術論（前號の續き）

文學士 坪内雄藏君演述
木山 艮 筆記

人の氣格を高尙にするをもて小說の目的なりとハ何人の定めたるにや、如何なる哲學上の道理ありてか左ハ定めたる、是れ或ハ結果より推し及ぼしたる議論にハあらざる歟、何となれバ美術に由り美術の作りたるものを見ば何となく上品なる心持のせられて繪を見音樂を聞き詩歌を詠みても他の美はしからぬものと見聞するとハ異り高尙なる思想の起るものなるがゆゑに此結果を見て左こそハいへるならめ左らバ後の方より頭の方を判斷せし論にハあらざる歟彼の鹿といひ馬といふも前面より見ればこそ鹿にハ角ありて大に馬とハ異りたれ後の方よりこれと見バ能く相似たり前面より見てこそ吾よくその鹿たり馬たるを知れど後方よりしてハ如何でこれを辨ずべき

顔世御前ハ小夜衣の歌を高師直に贈り師直腹たちて終に塩冶判官の切腹とハなりぬ勘平ハ闇の夜に野猪を打んとて覘ひたるその玉誤つて定九郎にぞ當りぬノルマントン號の沈沒して紀州の海の底の藻屑となりたるに就き有志の人々ハドレーリこそ不都合なれとて演說をなしたるに義捐金ハ速かに集りたり斯る論者の論法に從ひていはんに顔世御前ハ塩冶判官に腹切らせんが爲に小夜衣の歌をば師直に贈りたり勘平ハ定九郎を打たんが爲めに鐵砲を放ちたり有志の人々ハ義捐金を集めんが爲めに演說となしたりといはざるを得ざるべし、如何で左る事のあるべき斯のごときハ皆偶然に出たるものにて之を偶然の結果といふべきなり左れバ物の結果より推及ぼして事と論ずる時ハ大なる間違起るなり斯くいふとて論者ハ必ずいはん人の氣格を高尙にするものといへるハ小說のみにいふにあらず音樂に於ても彫刻に於ても詩歌に於ても同じ結果あり決して偶然の結果にあらずして本然の結果なりと、好、さらバ之を本然の結果なりとして人の心志を高尙にするハ美術家の目的なりとせん、然らバ鑿を取る時に於ても繪を畫く時に於ても一々人の氣格を高尙にせんとする心得なかるべからざれども實際に於て左る事の出來べきことかハ假令人の氣格を高

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

尚にもせよいへる論の好かればとてその高尚ならしむるものハ果して何物なるかの高尚にすといへる本原の穿鑿をこそ爲さましけれこの本原の明かならざる中ハいまだ之を以て彼のカチと音せる眞正の的といふべからずろの的の何寸角或ハ何分角たるかを詳らにせずてハまた彼の紛へる的なるや否いまだ知るべからず

是より自らカチと音せる眞正の的ならんと思ふところのものを述べんと欲するなり、倩々人間の性質を考ふるに人ハ固穿鑿を好み物の道理を知らんとし物の本体を辨へんとして止ざるところの動物なり人の幼き時に就て之を見バ其証甚だ明かなり幼兒の二三歳のころとなり未だ物辨へざる時にキヨロ〳〵と彼方此方見廻さずハ物を知らんと思ふがゆゑなりまた漸く言語を解するに至り慈母乳母の懐に在りて片言交りに彼れハ何是れハ如何にと尋ね問ふことあるも物を知らんとするに依る事なりまた古より今に至るまで未開より開化の域に達するまでを見るに道理に關する人間の智識ハ進み來りたりといふに外ならずしてまづ有形の學問より始めて漸次に智識を進めたり或ハ物理學といひ化學といひ博物學、地學、動植物學、金鑛學、天文學など皆有形物の本体を知るの學問にして是等の學問の外に尚ほ形なき學問を取調べずんばあらず是れ即ち哲學(一般を指す)の進み來りたる所以にして社會學、心理學、純粹哲學ハみな學問の道理を知るの學なり斯く形なき物を考へ究むるの道ハたゞ二あるのみ即ち智力を以て穿鑿すると感情を以て觀察するとの二つなり智力を以て穿鑿する學問とハ人間の智力を以て攻究するものこれを總稱して哲學といひ感情を以て攻究するものを稱してこれを美術といふなり美術ハ即ち哲學の力もて攻究し得られざるところのものを攻究するの學問なり人の智力もて攻究し得られざるものを攻究し得るものとハ果して如何なる事をいふあるか乞ふ試みにこれをいはん　（未完）

◎中外新報

◯婚姻に係る伺　昨年十二月廿八日東京府より離縁養女を妻に娶るとに付き明治十一年七月五日大坂府の伺に對し內務卿指令の趣も之ありたる處右伺面は母子と前後に娶る儀なるを以て聞届け難き旨指令相成たり然るに今單ニ養女を貰ひ置き之を離縁復籍せしめ更に妻に貰受けんとするものあり是ハ大坂府伺面の事實とも相異なり乃ち婿養子其婦(家女)を離縁

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

し同居のまゝ更に乙の妹を他の養女となして妻にすると較相均しきものにて先きに養父と呼び養兄と呼ぶの差はあるなれども同じく血縁のなきものにて右等の分は妻に貰ひ受けても差支なきがごとし然れども一旦養父子と呼しものなるにより倫理上不都合につき縁組差留めらすべきやと届け出でたるに司法省よりは後段伺ひの通りと指令せり」また同月廿八日埼玉縣より甲の長女を乙の妻に嫁し乙の妹を甲の妻に迎へんとす右は自然配偶者の妹を繼母と稱せざるを得ざるものにて穩當ならざるにつき聞許すべからざる儀と相心得べきやと伺ひ出たるに同省より伺ひの通りと指令なりたるよし去月十九日の官報に見えたり

○西郷令孃の雛祭　西郷伯爵夫人には昨年の末つかたより熱海の温泉に入浴中なりしが本月初旬に歸京ありて今年は令孃の初雛なればとて鹿兒嶋風に行はんとてこの頃頻りに計畫あらする由なるが同夫人には是まで數子を設けられしもみな男子のみなりしを今年初雛に當り給ふ令孃こそは初めての姫君なればいたく喜ばせて費用をも厭はずいと立派に行はんとて本月廿五日より飾附々に取り掛り來月三日には親戚の方々を始め平生の友垣誰彼と招かせて盛なる宴を開かるゝ由

○紀元節祝賀の唱歌　去る十一日華族女學校にては祝賀のため風琴または琵琶三曲等の催ほしありてこの日は明宮殿下にも成らせられ貴婦人がたも多く來校ありしよし扨て唱歌は左のごとしと聞く

唱歌　大君　高崎正風作

おほきみの、まつらすけふは、とみやまの、ゆにはをかこも、おほしいづらん

同　橿原　同

かしはらの、おほみやばしら、よろづよも、うごかぬもとゐ、たてしけふれも

同　扶桑の海　下田歌子作

扶桑の海に浮び出し、朝日の光、さながらに、今もにほひて、日の丸に、國旗かゞやく、紀元節

同　國船　木村弦雄作

雲に聳えし高山も、のぼらばなどか越えざらん、そらと浸せる海原も、わたらば、終に渡るべし、我が秋津洲は茜さす、ひがしの洋のはなれ嶋、たとへば海のたゞ中に、泛べる船にさも似たり、四萬方里の船の中、三千餘萬の乘組あり、船のあるじの指揮をうけ、文明海にそゝめゆく、水主かんどりも多かるに、われらも水主のひとりなり、船のゆくては和田の原、八重の汐路のとほければ、はやてさかまく折もあり、高浪あるゝときもあ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

り、船手のわざにならはずハ、颶風たか浪凌ぎえて、おもふ港にいかでつくべき

○共立女子職業學校 ハ益々入學するもの多くて教場手狭となりたるより今度いよ〳〵同じ神田區なる一ッ橋通り廿二番地の文部省 官 舎を借り受け本日までに同所に移轉り明日より開校するはづにて去る六日の日曜日より休業せりまた同校にてハ元獨逸人よて今ハ日本の籍に入りたる山崎ラウラ婦人を今度教師に雇ひ入れたるを以て一層教授のたと擴張する計畫あるよしに聞えまた更らに寄宿舎をも新築ありしにより寄宿生規則を設け一旦寄宿せしものハたとひ如何なる事情あるも証人の証書さし出さゞる限りハ外泊を許さゞる筈なりとか目下生徒の現員ハ二百十七人なりといふ

○贈答廢止會 前號にも揭げたるがごとく外山正一氏の主唱ありし同會ハ追々入會者ありて既に三十餘名の會員を得たるにつきいよ〳〵近きうちに設立する運びなりと

○卒業証書授與 上野公園内の音樂傳習所にてハ來る十九日生徒十餘名へ卒業証書を授與せらるゝよし

○牛込英和學校 牛込區横寺町の同校ハ同區の有志家飯塚仁兵衛、西川勘兵衛その他の諸氏の創立にて高等の普通學科を教授するところにして校長吉澤彌四郎氏教員貴虎武俊氏等總て慶應義塾の卒業生の由にて外國教師にハ米國人ブラウチル英國婦人バイヨーの二人あり同校の寄宿舎ハ男子、女子及び童子の三寮にわかち女子童子の二寮よハ特別監督を置き價高き書物ハ貸し與ふるとの事なるよし學課ハ本誌寄書欄内の問に答へたれば就て見らるべし

○東京產婆學校 にてハ目下生徒の試驗中のよしなるが受驗者ハ來る三月府廳に於て行はるゝ產婆の開業試驗を受くるものなりといふ

○牛込區の婦人會 同區の志ある婦人がた數名の思ひ立にて今度婦人會といふを設け毎木曜日午後二時より英國女教師カアトルメルといへる人を招きて英語または編物などを學ばるゝとの事なり

○洋服裁縫 ハ近き頃の流行の一なるが富士見町一丁目へ今度洋服裁縫女學館といふが創設なりたりこの校にてハ專ら貴婦人令孃がたよ裁縫の指南をなす所なりといふ

○製藥會社 京橋區木挽町の大日本製藥會社にてハ社長長井長義氏の思ひ立にて婦人を調劑方に使用せんと試みに同氏の令閨獨逸人 某 女をして二三の婦人に調劑法の授業をなさ

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

しめられ追々進歩せる有様なりといふまた同會社にてハ製藥の瓶詰或ハその上包などの仕事にも婦人を使用せんとて先頃より多くの婦人を雇ひ入れ共立病院の看護婦の服裝に模したる衣服を着せしめ日々仕事に從事せりといふ

○感心な婦人　四谷仲町三丁目十二番地の士族松浦何某の妻女サト(廿三年九ヶ月)ハ性來多病にて一昨年中芝の有志共立病院へ入院なし居たるにその良人の死亡たるより身を寄すべき所もなくなりたれば如何ハすべきと途方に暮れたりしが身の病も較おこたりたれバ志を勵まして同院の看護婦生徒となり爾來頻りに勉強なせしよぞ既に前期の試驗にも及第なし本年ハ更らに慈惠病院に入りて專ら解剖學を勉强中なるが志しを立てしより今ハ健全となり學びの道もいと捗れり感心なる婦人なりと或る方より報じ越されぬ

○世界一大奇書　ボルトン婦人ハその良人の著はしたる彼の世界一大奇書と稱へて有名なる亞羅比亞物語を校正改板したるにつきこの程その一部を英國女皇陛下に捧呈せしに女皇ハ喜びて受けさせし由近着のヶヰーン新聞に見ゆ

○女生徒の鳥類保護會　歐米の貴婦人の間にハその裝飾に鳥類の羽毛を用ふること多かるが米國紐育州ブルークリンなるパッカー學校の女生徒等ハこの頃オードボン鳥類保護會の支會を設け衣服および家財の裝飾に一切鳥類の羽毛を用ひざるべしと誓ひしよし又同會にてハ婦女子頭髮の裝飾に羽毛を用ふるがために鳥類を屠殺する數を取りしらべ精確なる統計を得たりといふが歐米にてハ動物を虐使するを廢すべしとて設けたる會あるがこれもまた此會の流亞なるか

◎學藝一斑

○理學一斑(第四十八號の續き)

引力および力といへる語ハ精密に用ひざれバ多くの害を生ずることあり引力及び力ハ恰も自然の物躰より別に成立ちたるものにして原因及び結果の引續きより成りたるもの〻名あれどもその實ハ或る現象の知り得られざる所の原因の名目なり故にこの事を知るハ初等者がこの學を講ずるに方り了解せんとするの勞を取るに足るべきなり

されば或る二個の實躰ありて若し運動自在なれば自然に速力を増加し相互ひに近づくものにして二個の物躰相會する前に經過せる間隙ハその含むところの物質の量よ反比例となすハ自然の法則たることを知るべし重力の引力とハ普通の事に與

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

へたる名目なり重量とハ地球上の物体に就ていふ名にして力とハ事實の知り得られざる原因を稱する名目なり是等の事ハ知らずんばあるべからざる必要の事たりろの名稱ハたゞ名のみにしてろの物あるにハあらざるなり

〔第廿節〕水の重量ハろの容積に比例する事　吾人が次に考ふべきハ普通の重量にあらずして水の重量なり水を充したる水呑ハ空虚の水呑よりも重し何となれば水を充したる水呑ハこれと擧るに當り空虚の水呑よりもその勞の大なるを感ずればなりさてその水愈々多ければその勞愈々大なりされば水の容量の大なればろの重量益々大にして水の容量少なければ隨つてろの重量の輕きを知るべし然れども掌上に水一滴を落さば全くその重量なきもの丶如かれどもろの地上に落つるを見れば正しく重さあるに相違なかるべし數千滴の水ハ手桶を充すにいたり之を計れバ一千滴の水ハ幾何といふ重さを得べし乃ち此重量を千分したるものハ各々一滴の重量なりされば吾人が勞力の感じハ重量と計るにハ甚だ粗にして最も少量のものをバこれゾ認識する事さへ六ヶしかるべし何物を論ぜず苟も精密にその重量を知らんと欲せバ精細にこれを計る爲に作りたる機械を用ふべき事なり

MAXIMS & PROVERBS.

泰西の箴諺

(甲) Throw a sprat to catch a whale.

〔意譯〕鯨を捕ふる爲めよハ鰮を投棄す

(乙) Opportunity makes the thief.

〔意譯〕機會能く盜を生ず

DON'T (NASUBEKARAZU).

Affectionately addressed to Womankind.

DON'T confine your reading exclusively to novels. An excess of this kind of reading is the great vice of womankind. Good novels are good things, but how can woman hope to occupy an equal place with men if their intellectual life is given to one branch of literature solely?

◎對譯

(甲)㊀鯨ヲ㊁捕ル㊂可ク㊃鰮ヲ㊄投ル●(乙)一機會ハ㊁盜ヲ㊂作ル

(勿の語譯)㊀小説ニ㊁迄㊂非常ニ㊃汝の㊄讀書㊅込る㊆勿れ。●

㊀讀書㊁の㊂此㊃類㊄の㊅過度ハ㊆女人㊇の㊈大なる㊉不德デ⑪ある●㊀善き㊁小説ハ㊂善き㊃物㊄ある㊅然ども㊆如何ニ㊇女ガ㊈若し㊉彼等の⑪才智の⑫生活ガ⑬單ニ⑭文學⑮の⑯一の⑰派ニ⑱まで⑲⑳與へらるる㊈なら㉑男ト㉒共ニ㉓對等の㉔位置テ㉕充す㉖可く㉗希望し㉘能ふ

八十七

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

◎列女傳

○歌妓小万の傳

姿の艶麗なるさまを比較いはゞ霞にむせぶ遠方の柳櫻もうち愧ぬしと思ふべく心操の直に堅きとを比喩いはゞ雪にうもるゝ藩籬の竹のつよくとゝしきも猶及ばずとや歎くらむかゝる婦人も深き窓にれひたてるうちに求めむには有難しとにもあらざめれど昨日は筑紫の人の宴の筵に侍りて測りがたき人の心とをとり今日は陸奥人に招れて絲竹のいろ音に醉ひをすゝめ我にもあらで笑ひ戯るゝ歌妓のうちにさる人のあることそいと珍らかなれ元治慶應のころよやうち靡く柳橋といふわたりにさる者多く住めるに小川屋なにがしの許よ小万といふ有りけり幼き比より此處に養ひとられて此主人と親とたのめばまことは如何なる人の胤なりけむ自分も聞き知らぬほどなれば況て他人の知るべきやうも無くこれひとつだに先いと憐れなる身の上にていづれ歎きの末かゝる處に棄られしなるべし三五の春ばかりひや名弘めといふことどして出たるに生れえて心ざまさかしければ姉とたのむ人に毫ばかりも背かぬのみか物なれては此人の足らはぬ處をもたすけ補ひくちをしからずもてなせど其とれのがわざと知らせず然りとてくち輕に才はしりて憎まるべき樣の事どもはなく此近傍の船宿の妻さるべき割烹店よつかはるゝ女どもまでもまたなき者に褒るほどなれば未一個だちたる歌妓の列には入らねど早う知る人は知りて此少女の行末いかならむなどいひ騒げばはかなき雛の手もてと人のよりは目とゞめらるゝに實かれは優りけりなど誰も彼も褒のゝしれば幾程もあらず引く人の多くなりて後見だちたる姉ぶちも此小万の招るゝによりて其筵に列るさまなれば二八といふ時にはいち早く歌妓の列に入りぬ六宮の粉黛なにとやらむから人の宮妃のうへと稱へしを匹儔にいはむも異なるさまながら千樹の柳橋も此一もとの糸なくは嫖客を引留むるすべなからましとさへ罵りあひけり同じ頃將軍家のみうち人にて司位高く世に勢ひあるきはには有らねど無下に賤きたねならず内外の學にも至り深くて人の用ひ輕からぬ多久何某といふ人あり容貌の清げに心ざまいとすくよかなるが何時かさふひよりけむ相思ふなかとなりて絶ず通ふを下には嫉しと思へどさればいはで今より斯る人ありては營業の道のせばくやならむなど忠誠だちて小川屋のあるじに告るもあれどさる障りのありとしも見えず勢ひことに流行もてゆけば主人も

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

さるかさゝ罪ゆるされて鬪ぞだにすゑねばいとゞしく深く思ひかはしてかたらひしなるべしこの頃おしなべての慣習にて歌妓などと直ちに宿の妻にいれしがたき例なりしかバ何某も我しめのうちに移植ゑてとい思ひながらもさるべき便宜もわぶでうち過るほど遁るましき公けごとにて西の京にゆくこととなりぬ年の内こそ歸ることも定めがたけれ春にもならば雁より先にならど契りしを違ふことあらじとのみ頼めわたる程都の空の何となく穏かならずといふにいと覺束なくて此處かしこの人にとへば年返りてほどもなく淀伏見のわたりに戰ひおこりて江戸よりのぼりし人々多くうたれぬと聞えしよさばかり怜悧き性なれど何某のさるところに

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

出るものかはたかゝづらふまじき身の程なるをはふつにたどり知らねば胸つぶるゝまでにうち歎きつゝ猶あふ人毎に聞ば將軍も浪華の浦より辛く遁れて此方に歸り賜ひしがみとものの人々の此艦に乘り後れしは紀の路のかたへ遁れしといへど只一人だに今に歸りつとの便を聞ぬは悉皆討れやしつらむ捕れれて引れやしけむと思へど此處にもうての使の下りまうでくといへば遠き境の事ども探り聞くべきいとまはなく昨日も若殿原の忍び〳〵にあまた下總の方へ落行かれしを思へば此大川を隔てゝ近きに戰ひもやあるらむなど思懸ぬことゞも語り聞かすれば戀しき人の上のみならで世の中の如何かなりゆくらむとさへ驚き歎るれどせむすべなく如月も夢のうちに過ぎ彌生もなかばになりぬ墨田上野の花は常にかはらず咲出ぬれど木のもとに醉ふ人も多からずなど路ゆきぶりに聞けど此さとの賑ひはありしよりけに增るほどにて殊に其名の高く聞えてひく人多き身は暇なき迄なれば紛るゝとにはあらねどさてうち過しけり近き比よりしげく招かるゝ客人は深川の里木場とかいふ地の安達屋のなにがしの子にて小十郎とかよばるゝ人にて家いと富有なりとて此わたりにはこよなき者にもていつかるゝ人なるが何時のひとまにか小川屋のあるじに語らひてかれ得させてよ然らば此家作りも改めてむなどさま〳〵にかきくどくめりされど何某と思ひかはして深く慕ふさまをも知りたれば穿ちにもすゝめず只折にふれては生死の程をも知らぬ人をたのめ渡らむよりは彼人に別きて家をもゝち行末のやすからむやうに心がまへせむこそ本意ならめなどいふに心には染まねどのゝる親だつ人の語の省きがたうは浮たる營業のならひ一方に心定めてもえあられぬ事なればすげなくのみはもて放れかねて引るゝ袖とうちはらひはてぬ時などもありけむかし

（以下次號）

◎雜記

○女子の敎育（前號の續き）

矢田部良吉君演述

我文部省は客年十二月六日を以て東京高等女學校に生徒敎導方の要項を訓示せられたるが其第一條に曰く「先づ女子生涯の職分の基となるべき普通學科を敎へ尋で一家の責任を負擔するの切要なる學科及び藝能を習はしめ最後凡そ一年間は夫妻の關係、舅姑に對する心得、育兒法、婢僕に對する心得、朋友親戚に接する心得及び交際、動作の心得等を講究せしむる事」とこゝにいふところの普通學科及び切要なる學科藝能等は敎

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

授くるがごときハ容易なることにしてその課程を編成するにも敢て六ヶしき事にはあらざれども今日我が國女子の敎育は舊主義より新主義に移りゆかんとする特殊の時勢に當りてあれば女子の必得方ハ如何なる方法に依るべきや是れ等の點に向て十分洞察せざるべからざるを以て夫妻の關係以下の事柄を實行するにハ最も注意を要すべきにより擔當者その人を得るにあらざれば決して好結果を収むる能はざるなり余はこの事に付て聊か意見を有するが故に只今此に陳述せんと欲すれども啻に多くの時間を費すのみならず單にこれを陳述するのみにてハ諸君をして滿足せしむること能ハざるべければ敢てこれをいハざるなり然れども余が生涯の中に於て若し余が意見を實施すべき好機會を得るの大幸に逢遭することもありたらんには余はその時に及んで十分演述して余の所見の果して當を得たるや否ハ諸君の批評を請んと欲すさてまた生徒敎導方の要項第二條には「日本當來の女子職分及び習慣にして善なるものは愈々これを進め不善にして改良を要するものハその尙は存在する間ハこれに和して同せず漸次圓滑にその改良を遂ぐるの要旨を敎訓する事」といへるが之といふには易けれども女子をして十分に此心得を有せしめんには良き敎員を得て薫陶の任に當らしめざるべからざるを以て斯の如き事を能く敎訓し得ると得ざるとハ一に敎員の良否に依るものなればその敎員の選擇にハ最も注意せざるべからざるなり但し我が文部省には濟々たる多士の在るありて具眼者に乏しからざればそ右の點に付てハ敢て余輩の喋々を要せず數年の内に好結果を収むるに至らんことは余の信じて疑はざるところなり然れども余は女子の敎育の事に付て別に文部省に望んと欲するものありそは他にあらず文部省は男子の敎育上に付てハ甚だ熱心せらるゝを以て大に行屆き高等中學大學等の設けあるのみならず大學の卒業生中より優等なる者を選拔して官費を以て外國に派遣し更に高尙なる敎育を受けしむる等の事ありて後來我が國の柱石ともなるべき人物の養成方に於ては毫も遺す所なき樣なれバ寔に結構至極といふべきも我が國の開明を進歩せしむる事は男子にのみ托すべきものにあらずして後來高等敎育を受くる兒童の母となるべき女子をも同時に養成せざるべからざるなり然るに文部省は女子の敎育の爲めに費す所の金額は男子の敎育に費す金額の百分一にも當らずして女子の敎育をば殆んど度外に置るごとき有樣なるは抑々何故なるや說を爲すものは男子の敎育は目下の急に迫り居ればこれ

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

を緩漫に附すると否ざるとに於てハその結果甚だ現ハれ易く女子の教育ハ左程その効果の顯ハれ易きものよあらざるよより文部省は先づその睹易きものを急にせらるゝならんといへるが余の考ふところを以てそれば決して去る譯のものにあらず蓋し文部省に於ても女子教育の改良は甚だ大切にして目下の急に迫り居ることも萬々承知せらるべしといへども男子の教育を改良すると同時に實行するほどの出來難き都合あるにより暫く之を緩にせらるゝことならんかなれども何時までも之を緩漫に附し去るべきものにあらざるがゆゑに余は一日も早く實行せられん事を切望す而してこの改良の事に付てハ種々の説を唱ふるものありて中には女子の教育を私立學校の手に任すべしといへる者もあるが現今の私立學校は不完全極りて女子の教育に適當そるものは一としてこれなくまた東京高等女學校を始めその他各府縣の女學校のごときに至りても規模甚だ狭小にして學科といひ授業時間といひ教場といひ寢室といひ總て温和優美なる女子を教育するに適せざるがゆゑに文部省は新たに各府縣の模範となるべき一の女學校を設立し而してその學科及び授業時間等より家屋の構造にいたるまで男子と教育するものと大いに異にして女子が温和優美なる性質を發達し人の母となるに能く適當するやうに養成せられんことを望む若し幸ひに文部省が余の説のごとく實行せらるゝに於ては全國一般女子の教育を改良するは決してかたからざるべし

以上縷陳したるところハ近頃余が女子の教育上に就きて有そる意見なれども一場の演説固より卑見の十分一をも述べ盡すこと能ハざるなり然れども若し余の卑見中取るべきものありて諸君がその參考の一助ともせらるゝことあらば余の幸ひ洵にこれに過ぎざるなり　（完了）

○女子教育説（前號の續き）　ガゼット新聞抄譯

女子ハよく人を教導し人を感動せしむるよ力あるものなり富貴貧賤ハその養成に關せず富家の妻ハ却つて不良の母たること往々これありこれ居常自已の娛樂に汲々たると訓導の助けたるべき良書を讀むを厭ひ小説人情本をよろこぶとに因るなりこれに反し貧家の母ハ斯のごとき書物と讀むべき暇なくその養育ハ法律またハ君主によらず判官またハ鬼神によらず必ず自身親から勞苦すべきを知る總て女子いその德性を教養するを主とそべし然るときハ社會黨も漸くその跡を絶つべき犯罪者も大にその數を減ずべきハ決して疑ハざるなり

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

學年の最終を以て人を教ふるの道を講究するの時期に適すと爲すハ他なし自から學ぶの日にありて人を教ふるの方を學ぶべからざるハ理の當然なり彼の商賈を見ずやその子弟をして自から事を營むに先だちて已れ嘗て學び得たるものを授く一家を主どらしむ然らば則ち世の師傳たるもの何ぞ獨りその道を秘するの理あらんや師道の宜しく秘そべきを説くもの蓋しいまだわふざるなり當よ須らく子弟をして師道の難きを知らしむべしその子弟また人に師たる時その難きに當て必らず師の恩義を感ずる事深かるべし今こゝに述ぶるところの教育を人に傳ふるの道他にわらず好んで人を導くものハ口を開けば教へとなるの言語と吐露し强て人と導くものハ數冊の書籍を以てその助けとするのみ然れども事物の原則を集めたる小冊子のごときハこれを備ふるも可なりその子弟の父母も或ハこれを以て必需となすに至らんこれ始めハ片言隻語よりそるもその結果ハ極光て善良廣大を致すを得れバなりもゑに妾がいふところの學校ハ必らず子弟をして人を教ふるの道を講究せしむるにありて女子たるものハ皆この教を受くるを必要とするなり見よこの教ハたゞに家族を益するのみならず終よ施て國家に及ばんとするハ然るときハ勤勉適質にして一家の和樂を得べくこれを擴充して婦女子教育の完美なるを見るべくまたこれよりして國家の静謐を期すべきあり　（完）

○學校家庭子女輕患微傷手當法（第四十八號の續き）

（火傷の續き）火傷にて皮膚を損じたるときハろの怪我益々甚だしくなるものなるがゆゑ擘削の時と同樣の取扱ひをなそべしその手當法ハまづ石灰水と橄欖油或ハ石灰水と牛乳とを等分にしたるものよて柔かなる綿又ハ綿撒糸と浸し局所に當ておくべし斯のごとき場合に於てハ傷所の全癒するものハ稀れなるがゆゑ速に醫師の診察を乞ふべし

（蜂などに螫されたる時の手當法）蜂などに螫されたる時ハろの所に針を殘したるや否よく〳〵吟味して若しこれあらバ拔き去るべし扱てのちに酢或ハ鹿角水、ラウダニユーム、またハ燒酎などを厚き綿か綿撒糸の切れに漬して傷を受けたるところに附けおくべし　（未完）

○婦人の心得（對譯欄内の意譯）

小説をのみ讀みてわるべからず婦人よして餘り多く斯る書物と讀むハ良き事にハあらざるなり固より善き小説ハ良きものなれども如何でその才を以て生涯文學の一科を專修する男子と對等の地よ立たん事を望むべき

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

◎新作物語

○巣守の妻　第十四回　春のや主人

「姑君それぢやア一寸往ッてまゐりますヨ外にお使ハござ
いませんのネ、それして粉藥の方もハイ今日きりでおしまひで
すから序に貰いてまゐりませう、往ッてまゐります」ト笑み作
りて身さへ氣分さへいと輕げに奥の一間だゟハ立出れど五月
蠅う振りかゝる鬢のホッレを只ッた一度ッきり搔きあげたる
のミ強てハ拂ひもせず搔遣りもせずおのが爪先を詠めつゝ出
でゝく

越野の病氣ハ此二日バかりメッキりと薄らぎぬけふハ容体を
悉しう語りてお民を醫師の許へ送りやりしが淋しうなるまゝ
に樣々の物思ひ「先刻も先刻とて信と新作が歸ると言ッたが
全体如何いふ氣であゝいふ事をいふかそれも一二度の事でハ
なし、たしかに先月の病はじめの頃にも、サウ〳〵あれまでハ
噂をするたび寧そ手紙を出して呼びにやれのなんのト色々說
得めかけた事などもあッて、それが如何してか俄かに變ッて
信とお歸りみなるといッて、八卦でも見て來たやうに……全
く慰める積りでイヤ〳〵それにしてハ一度ならず二度も三度
も、如何も合點が」ト持前の氣苦勞」是非とも歸宅ッたらバ如
何いふ氣でいふのか尙一度改めて聽いて見やうチヤ〳〵マダ
漸々六時かチエ今日ハ例時よりハ長いやうだお民が出掛てゟ
ら餘程になるモウ歸ッて來る時刻だのよ、また藥取が込あふ
のかチエあゝドッコイショ」片手を杖にして起直りて「チヤチ
ヤ何時の間よか爰へ手紙が……それぢやアあノ先刻下婢が來
たときフム「英吉利より」、相替らず倅の自筆で、「平信」…早く
歸ればよいお民ハ、平信とあるから何事も無くて…ア、お民
ハ如何したかしら、大層今度のハ薄いやうで、ウムドッコイ大
層に輕い、マ兎も角も開封て見ませうヱ、どうも手が」ト口小
言半分ヤット俯伏に臥返りして封を手と口で嚙み破り引延し
やがて中なると取出して讀む「相替らず不肖事も益々恙なく
暮し居り候間何卒御安心遊バされたく……益々恙なく暮し居
り候間……(尋常の人ならんにハズット前略と走り讀みしてろ
く〳〵目も留めぬ定規通りの文句を殊に氣を留めて二度まで
も讀み前の「お替りなく被爲居候哉」云々と書いたる文章と見
くらべ覺えずホロ〳〵と淚の雫、千片の金をもても買ひ難き
ハ親の誠なり母の情なり嗚呼物の是非と知りたる頃まで親も
てる人々の羨ましさよ羨ましさよ)チ、外國の季候にもあた

九十四

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

らず益々恙なく……ナニ〳〵幸ひの便船にも之あり久く御目もじも致さずし故兎も角此船にて……明後十二日ゟ……チヤ〳〵モウそれでは出帆して、それぢやアあのお民が言ッた通り、（指を折ッて日を算へ）遅くも五六日も立中には……彌々新作がアノ倅が……」手紙を握りしまゝ恍惚たり

折しも轔々たる車の響「宜しく〳〵爰で宜い御苦勞であッた、サウだ其荷物を持ッて來て呉れ、チット〳〵、車にステッキが殘ッてゐやアせんの」などゝ珍らしき人聲が聞えて履音玄關に近附たり廣くもあらぬ住居なれば其聲奥の間まで通じたれど如何やら聞慣れぬ男の聲音醫者殿が參られた譯でも無しハテ誰人歟ト不審めば忽ち何故に

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

や胸先騷ぎて總身我しらず震はるゝに越野ハ堪へかねて「下婢やおきく引……

お菊を二度まで呼んで見ても「エ、これ程に大きな聲で頻りに呼んで見ても」向ふへハ聞えず聞えぬも道理、大きな聲をせうと氣をいらつまゝに益々我聲の力ハ弱りて破れし鈴の音のそれならねどチンとばかりにて餘音無ければ菊引のキの字のみぞ彼方に聞えぬ「エ、もどかしや」ト氣を揉む中に「モシ御隱居さま御隱居さま……」跫音と急がしげに引走ふして「若旦那さまが……」「エ、」「お歸りになりました

「まづ慈母君御替りもなく、只今歸りましてございます」ト下女に引續いて入來る新作越野ハ忙然とアッケに取られて床に片手ついて坐ッたまゝ暫ハ無言にて倅の貌ジッと打まもりてハラ〳〵「如何して斯う早く」ト たッた一言膝を進めんト身をあせれど片手ハ無神經また片手ハシッカリ衝たまゝ動かさねば爭でか其膝を進むる事を得べき、氣ばかり前の方へのりだしても身躰ハ進みかねて胸ふさがりウッと聲をあげて床の上に泣臥すお道理や左もこそト傍へ走り寄ッて親戚の介抱一別以後の物語も互ひの安否も挨拶も嬉し涙の瀧川にせかれて暫しハたゝよひたり

百病大方ハ我が心よりト識者の説かれしも異なるよ流石に病弱りし老女の越野が俄かに勇ましげに勢ひづきつ今宵ハ安着の祝のしるし私も鯛の洗ひ一箸ハト下女を急がしたる夕餐の催促客間に大きやかな坐蒲團しかして我子とさし向ひの樂しさ嬉しさ「それからフムさうして、チ、〳〵それハ〳〵、直に文部省へ、それハマア芽出たい、定めし嚴父君が御存生でおッたら……(涙ホロリ)ほんに此樣な芽出たい事をお民に……チヤあのお民ハ……先刻から嬉しいのに紛れてツイ〳〵あの子の事忘れて居たが如何して斯う歸りが遲いのであらうお前も先刻からあの子の事を薩張何事もお尋でないがア、何かへ、下女から聽いて、エまだ何にも聽かなかッたとへ(新作の貌をジッと詠めて)手紙で兼々もいッてあげた通りお民がそれハ〳〵親切に孝行に……(新作ハ聽流してッと次の間を見やりながら)「チヤ慈母君料理が出來ましたやうですせ○きく〳〵や直に爰へ持ッて來てくれ

◎家政要報

○ランプ取扱の心得　ランプの危險ある事ハ今更云までもなき事ながらその取扱上の心得最も謹まずんばあらざるな

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

り去月三十一日刊行の工學會誌に石油ランプの構造と題せる一項ハ家政上心得となるべきものなれバ書縮めて茲に掲ぐべ之」石油ランプを使用するが爲起る種々の過失の原因を取調ぶることハ近頃研究の一題となり已にアペル、レドウッド兩氏の如きハ數年前よりこの事に從事し遂に其成績を都府工事局に報告し左の諭告を公にするに至りたり」抑々石油ランプ取扱中の禍災ハ大概取落すなどの爲ランプの油入の部分が破損するによるもの多くして全くの石油爆裂に因るもの少し素より此爆裂によりて起りたる禍災ハ多かれどもこれハ先づ初めランプ稍々久しく燃え居りたる後これを動かしたるか又ハホヤの上より火を吹き消したるが爲め器中の石油蒸氣が引火せるに歸するものにて或ハ此爆裂の勢ハ左ほど強きにハあらずとも取扱人が不意の事にビックリするが爲めランプを取落すによりて大事に及ぼすもの多しまた火の附き居りて油入の中に石油が極少なくなり居るランプを他に持運ぶ時ハ油の揺れるが爲に器中に籠れる石油蒸氣と空氣の雜りが器の上方即ち火焔に近き所の金具とランプ心の間などより吹出るとき火を取るがために器中全体の油蒸氣が爆發する事あり又永く火の附き居りて熱くなりたる油入に急に冷かなる風が當る時ハ中の石油蒸氣が收縮るが爲め後に破裂の助となるべき空氣の進入を生じまた火焔も幾分か中へ引入れらるゝもゑ尚ほ更危險なり又油入れのガラスの製し方の惡きが爲め急に冷える時ハヒヾを生ずる事ありて此ヒヾハ或ハ小爆裂のために出來る事もあるべし右の次第なるがゆゑにランプを消す時ホヤの上より風を吹込むハ人のよくする事なれども火焔を油蒸氣に近接しむると器を冷すとの兩原因となるものなれば別して危險なりランプに用ゐる石油の引火點が定度（アペル七十三度）より以下なるか或ハ少し位ゐ上なる時ランプを動かし又ハ持運べば蒸發氣の出方ハ隨分多くして金具の隙間より逃れ出る油蒸氣ハ火の附易かるべしと雖も爆裂の勢ハ却て弱かるべし何となれば油蒸氣の出方多きがゆゑ爆發に必用なる空氣ハ大概之が爲に早く追出さるべくればなり之に反し石油の引火點高き時ハ其蒸發氣の出方も隨て少なきゆゑ油入の中の空氣ハ追ひ出されずして油蒸氣と共に爆發に最も適當なる分量となる事あるべければ是れまた危險なり　（以下次號）

○白米小賣相場、　本月九日改正一圓に付（一等米）一斗三升四合（二等米）一斗四升（三等米）一斗四升四合（四等米）一斗五升三合（五等米）一斗九升九合

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

◎御伽草

○百技ハ一藝に如ず　散遊亭　圓蝶　述

或る日一頭の猫がブラ〳〵と野山を散歩して居りまするを向ふの方から狐が一頭ヤッて參りますから猫ハコイツ中々小賢い奴であるから下手に出る方が宜しいと思ひまして「ヤ狐公にハ如何入らッしやいますか今日ハ誠によいお天氣でございます相變らず壯健でお目出たう存じますと」叮嚀に辭禮を述べますと狐ハ何もいはずに猫の頭から尻尾の先まで眺て居りましたが暫くして權柄げに「オヽ貴樣ハ始終ガツ〳〵饑えて鼠ばかり追ひ廻して居る奴だナア全体貴樣ハ何の藝能がゐるのだ」と申しますから猫ハ「ヘイ何も是と申す藝能ハござませんが只ッた一ッ存じ居るばかりで」フム夫れやア如何な事だナ「ヘイ犬が追へて參りますと直に木の上へ迯げて登るのが私の藝能で其外にハ何もございません「ハヽ夫れッきりの役に立ない奴だナア身共なんざア百も二百も藝があるが貴樣なんざア憫然な者だマア己と一所に來い藝能を見せてやる」「ヘイ畏りました」と狐と一所に參りますと向ふから獵人が犬を四頭連れてヤッテ參りますから猫ハ矢庭ぽ路傍の木上に飛登ッて高い枝の木の葉の繁ッて居る所へ身を隱し「サア狐さん何な藝能があるかやッてお見せなさいサアヨ早く〳〵」と申しまそ中に狐ハ四頭の犬に捕ッて動く事も何も出來ません猫ハこの有樣を見て「幾百の藝があッても何の役にも立ない筭そ只ッた一ッの木に上る術を知ッてる方が勝である」と申しましたさうでございますが多くの事を知ッたよりも一藝一學に達した方が勝でございます

○數學問題（答ハ今月中）

甲乙丙の三數あり其差ハ丙數の六分の一にして甲數ハ七十二なり乙丙のの數如何（山田宇野次郎君出題）

○考へ物の題（同上）

左の歌ハ本邦の歴史中誰を詠せしや（陸前小野定代君出題）

さきかけてにほふや梅の花ゑひらさして生田に勇むますらを

○前々號數學問題の答式

$3:18=2:x$

$x=\frac{18}{3}\times 2=12$

$12+\left(\frac{1}{2}\times 2\right)=13$

$3+2:18-13=3:x$

$5:5=3:x$

$x=3$

$18-3=15$里

答東京ヨリ十五里隔る所

答者

三田牧野耕子、中村かね子、山田ふで、三の村常世、西村花、大阪山田かね子、西京大野武正、出羽山名高之、越後大村頓子、

○前々號考へ物の答

義仲（答者）みなわたらず

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

◎寄書

○婚姻の歌　　花の家　菟道　春千代

抑も婚交の動物に　欠くべからざるものなるハ
いはでえるべき事ながら　わけて人てふともがらハ
そが動物の中にても　長とあふがれ万物の
上にたつべき位とハ　神より受けしものなれば
また隨つておこなひも　人とけものゝわかちとば
正しくせずばかなふまじ　さるを兎角に世の人ハ
このわかちをばなさずして　獣類だにも劣るべき
一男數婦のまじはりを　あさてろげにもうたてかる
されば吾等ハなにごとも　眞の道をまもりにて
一夫一婦を基となし　猥りよ獸慾行なふな
神ハ我等をつくるにも　夫ひとりにうまひとり
あへて多くの女にハ　見ゆることを許されず
よく理をときまへて　貞女兩夫に見えずの
古き教へハ男にも　二人の女よ見えずと
堅く誓ひて今よりハ　悪しきならはしうちすてよ

○學校の教科の問　　伊勢山田　詠如生

去る一月五日發兌の女學叢誌に掲載ある牛込英和學校及び東洋英和女學校の教科及び用書等詳細に承はり度候

〔記者答〕牛込英和學校（東洋英和學校の課程ハ次號に掲ぐべし）の課程ハ第一第二に別ち第一課程ハ滿十四年以上の者の修むる所にして之を本科となし第二課程ハ十四年未滿の者にして未だ本科に入るべき學力なき者の爲に設けたり即ち第二課程ハ學期を二年とし一年を前期後期に別ち（英語學）第一年ハ綴字、ニユーナシヨナル第一讀本讀方譯讀、同第二讀本同上、洋習字、第二年ハ綴字、洋習字、ニユーナシヨナル第三讀本譯讀パーレー万國史（筭術）第一年加減乘除、第二年四則雜問、分數初歩（國書）修身兒訓、小學日本歴史（作文）通俗文初歩（習字）等なりさて○第一課程ハ學期を四年となし（英語學）第一年ハ綴字、讀方、洋習字、第二年ハ書取、讀方、文法演習、作文、第三第四年、書取、讀方、作文會話（講義）第一年クエツケンボス文典第二年博物書、カツトル生理書、モンチース地文學、第三年、ガノー物理書、ロスコー化學、ギゾー文明史、第四年、フオーセツト經濟學、スペンサー教育論、ベンザム立法論綱．ミル代議政体（數學）第一年、加減乘除及び雜問、分數及び雜問、第二年、小數利息算、比例、開平、開立、第三年、級數、級積、トド、ホンター氏代數、第四年同氏代數、同氏數何（輪講）第二年パーレー万國史セウエル羅馬史、第三年、同氏希臘史、マコレー氏クライヴ傳第四年、同氏ウオーレンヘスチング傳、サミール氏ラツセラス傳、スペンサー干渉論（簿記）商用簿記第三年後期第四年前期のみ（漢學）第一年、皇朝史略素續、日本外史同、第二年、十八史略講義、東萊博義同、第三年、春秋左氏傳輪講、第四年、八家文同（作文）第一年、通俗文、第二年、和文叙事、第三年四年、和文論説、（譯讀）第一年、スヰントン第一讀本、ニユーナシヨナル第二第三讀本、モーレー地理書、第二年ニユーナシヨナル第四讀本、クエツケンボス小米國史、ランカストル英國史バルン佛國史、第三年、バルン佛國史スヰントン万國史

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

驛遞局認可

束髮用具廣告

束髮用留針（ヘイヤピン）、同鼈甲製

西洋櫛（コンム） ヘイヤベン コロチルス

丸櫛 網 品々 リボン品々 花

メジルシ

弊家ノ南鄰ニみすやト申同名ノ針屋有之候得共右ノ物品販賣不仕候間彼ノ店ニ御出相成候共御用相辨シ不申候ニ付上ノ印ノ目標ヲ以テ弊店ヘ御尋被下度此段爲念申上置候也

東京京橋區銀座壹丁目

中村利吉

四森武城編輯

生徒必携 **作文獨稽古** 精刻木版

鼇頭いろは分字類

全一册 定價金廿二錢 郵税半額四錢郵劵代用す

全生徒必携 **作文獨稽古續編** 鼇頭証書及ひ諸願届書式 前同斷

嚢に作文獨稽古を發刊せし處初學に便利なると日用に調法あるとに因て非常の好評を博したれば茲に又其續編を上梓せり而して此書ハ前篇より一層高尚に進み前篇に漏れたる例題を蒐集し毎題三四章の作例と示し簡より繁に入るの楷梯とあし且つ鼇頭に諸証書類及ひ諸願届等の書式數百章を揚ければ前篇と此書を坐右に備へ置かば何人と雖も日用の事毫も不自由なかるべし

京橋區南鍋町貳丁目拾壹番地

賣捌所 **績文舍**

●通俗學藝志林 定價改正廣告

本社通俗學藝志林の義看客諸君の愛顧により倍々發行の部數と増し候ニ付擽て本社の主義なる己れを利せず世を益するの實を表せんが爲め今般大奮發を以て本號より左の通代價引下げ一層御愛顧の便宜を計らんとす江湖諸君前日に倍し陸續御購讀あらん事を希望す

改正定價 ●一部金八錢郵税一錢 ●十部前金七十五錢同十錢 ●廿部前金壹圓四十錢同廿錢

右の通改正仕候に就てハ既に御拂込の前金ハ右代價に引直し遞送可仕候間此段併せて廣告仕候也

第八號目錄

●論說 引力に在り栗生光謙○諸生物生存の原理ハ彗星の構造を論ず、ツェンデル○嶋津氏新發明の摩擦電氣機霞城山人○飲食モ亦外ニアル說樂水舘主人○野蠻人の有神無魂の觀念（承前）●講義 回文學士栅橋一郎●雜錄 ○南海諸島の野蠻の生活附ツックツク踊○數多の寶石及び他の鑛石の人造法ドクトル、ヘルマン、ケレッチエル○日本清酒改良の方針（承前）西川麻五郎稿○書生サンノ大晦日芳非散人○工業燃料論○米英記聞抄錄○第一世ナポレ翁の格言（承前）○漢學果シテ癈スベキカ機風生○農工雜話○讀理科仙卿有感霞城山人 ●雜纂 ●雜報 數件●寄書

大阪東區淡路町二丁目十三番地

賣捌所 晩靑堂書店

東京神田同明町

發行所 **通俗學藝社**

本誌代價表

壹冊	正價金四錢	此郵税錢
拾冊	同金三拾八錢	同 拾錢
二拾冊	同金七拾五錢	同 二拾錢
三拾冊	同金壹圓拾錢	同 三拾錢
四拾冊	同金壹圓四拾錢	同 四拾錢

但シ東京十五區内郵税不申請

本舍は御注文有之と雖とも前金御送附無之間ハ當誌配達不仕事に相定候に付御注文の節ハ必ず代價郵税共郵便爲替又ハ通運便にて御送附あらんことを希ふ●郵劵代用ハ壹錢切手ニて一割增し●郵便爲替ハ芝區芝口郵便局へ御振込み其爲替劵と本舍へ御送附可被下候但し東京十五區内ハ御斷り無之間ハ引續き配達仕候

發行所 東京々橋區南鍋町貳丁目拾壹番地 **績文舍**

持主兼印刷人 松本義弘

編輯人 初鹿野鉎五郎

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY